

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

Re Start

まちづくり推進課（内線326）

人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

まちづくり推進課（内線326）

Vol.18 薬物に手を出す若者③ ～周囲にも被害をもたらす二次的問題～

薬物依存症になるとどうなってしまうのでしょうか。手の震えや幻覚、意識障害などの身体への異変が起こるほか、薬物をなんとしても手に入れようとする依存性などは皆さんもご存じかと思います。また、依存症のほとんどの人は、薬物を求め続けるにもかかわらず、自分が依存症であることを認めません。

薬物依存症になってしまうと、薬物を手に入れるために度重なる借金や暴力、犯罪行為などの問題行動が目立つようになります。家族をはじめとした周囲の人は、こうした問題行動への対応に日々追われ、「薬物依存症の治療」という根本的な解決が置き去りになってしまいます。この悪循環が、周囲の人の生活全般にも大きな被害をもたらす二次的な問題です。

薬物依存症は、自分だけの問題ではなく、そして他人事でもないことをしっかりと理解しておきましょう。

アイヌの人々への理解を深めて 偏見・差別をなくそう

世界中にはさまざまな民族が存在し、それぞれの文化や民族性に優劣はありません。アイヌの人々も固有の言語や独自の豊かな文化を持っていますが、その伝統的な文化を破壊されるなど抑圧された歴史があります。

令和3年度岐阜県民意識調査によると、「理解や認識が不十分」「わからない」という理由から、アイヌの人々の人権問題の関心度が全体の4%と最も低いことが分かりました。

令和元年には、アイヌの人々が民族としての誇りをもって生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を目指すための法律(※)が施行されています。アイヌの人々への差別や偏見をなくすため、文化や伝統、歴史を正しく知ることから始めましょう。

※「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」

アイヌの人々の人権に関する
啓発動画（法務省）



ようこそ手話の世界へ 福祉課（内線217）

これまでに紹介した手話写真の動画を観ることができます。



このマークご存じですか？



このマークは、聴覚障がい者が自動車を運転していることを示す「聴覚障害者マーク＝蝶マーク」です。このマークを

付けた車を見たら、警音器を鳴らしても運転手が危険を認知できない可能性があるため、十分な車間距離を取って、必要に応じて徐行や減速をしましょう。

このマークは、耳が不自由であることを自己表示するための「耳マーク」です。聴覚障害は外見からは分かりにくく、周囲から誤解を受けたり、危険にさらされたりしがちです。このマークを見かけたら、「ゆっくり話す」「手話や筆談を使う」など、コミュニケーションの配慮をお願いします。



かんたん手話講座 「小学校を卒業した」

「小学校を」



左手の人差し指を
右手の2指ではさむ



両手を並べて
軽く前を出す

「卒業した」



上にあげた両手を下げながら、頭を下げる